



紹介元 あたほ環境機構(株) 古田周

会社名	松山工業(株)	ホームページ	http://www.j-matsuyama.co.jp/
KES.NO.	KES2-HI-0022	連絡先	代表取締役社長 鶴久森洋生 住所:〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-29-16
登録範囲	工業用ゴム及び合成樹脂の製造・販売		

ホームページ

環境保全活動

お知らせ

2013.03 松山工業は2013年4月1日より環境報告書を発表しました。
2013.02 松山工業は2013年3月1日より環境報告書を発表しました。
2013.01 松山工業は2013年1月1日より環境報告書を発表しました。
2012.10 松山工業は2012年10月1日より環境報告書を発表しました。

協力先募集中!

松山工業株式会社では原材料、加工部品等協力していただける会社を随時募集中です!

- ・弊社に協力出来るような製品がありましたら、是非ともご連絡下さい!
- ・弊社での取り扱いの可能性がある場合は、社内協議後ご自身の都合を「必ず」お断り致します。

環境マネジメント

環境宣言

基本理念

松山工業株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

方針

松山工業株式会社は工業用ゴム及び合成樹脂の製造・販売に関わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減する為に、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して、地球環境との調和を目指します。

- 1 当社の活動、製品及びサービスに関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
- 2 当社の活動、製品及びサービスに関わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
- 3 当社の活動、製品及びサービスに関わる環境影響のうち、下記の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 環境新策(ガソリン使用量削減)
 - (2) 省エネルギー化(電力使用量削減)
 - (3) 一般廃棄物削減
 - (4) 環境教育・啓発活動
 - (5) 環境保全活動
- 4 ひとり一人が環境負荷低減活動を積極的に実施できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに社外へも公表します。

以上の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2004年10月25日
改定日 2011年1月4日
松山工業株式会社
代表取締役社長 鶴久森 洋生

教育・啓発活動

action for /eco style/ Vol. 65

2013/4/26

客観的に家庭内電力消費量を減らす

これから季節は、徐々に暖かくなり国内の電力消費量も上昇していきます。具体的に家庭内家電製品の電力消費量比較を見てみましょう。

下記円グラフは、平均的な家庭での電力消費割合になっております。エアコン、照明器具、冷蔵庫、テレビの4品目で全電力量の3分の2を占めております。特に暑い季節には、エアコン、冷蔵庫の使用頻度が増えます。上位4家電製品の省エネもしくは、古い機種は、省エネタイプに買い換える等も検討、今夏も節電を図りましょう。

エアコン	24.9%
照明	16.2%
冷蔵庫	15.5%
テレビ	9.9%
電気カーペット	4.4%
温水洗浄便座	4.1%
衣類乾燥機	2.9%
食器洗浄乾燥機	1.7%
その他	20.3%

まとめ: エアコン及びテレビについては、待機電力の問題もついて回ります。今一度電力消費について熟考しましょう。

KES・環境マネジメントシステム・スタンダード

KESとは、1997年の地球温暖化防止会議で京都議定書が採択されたのちに、京都の行政機関や学識者、市民団体などで設立された「京のアジェンダ21フォーラム」が策定した環境基準のことです。2007年4月現在、「京のアジェンダ21フォーラム」以外の地方自治体や大手企業が、独自に認証登録を行なっています。松山工業は2004年、株式会社日立製作所が策定した「HI-KES」の認証を取得しました。

(登録番号: KES2-HI-0022)

KES・環境マネジメント・システム・スタンダード

企業・団体名	KES登録番号	認証種別	地方協働
松山工業(株)	KES2-HI-0022	ステップ2	日立Gr.HI-KES



Matsuyama Robot Project

VOL.2
2012.08.25

Matsuyama Robot Project (MRP)とは
松山工業株式会社が行なう、ロボットを通じて「社会貢献に専らすること」を目的とした「皆様のお役に立つため」のプロジェクトのことです。

お陰様でかわロボ3年目の夏を迎えました！

かわロボ！？

かわききロボット競技大会にご参加の皆様、松山工業株式会社は今年もまた、同じ場所に戻ってまいりました！皆様の喜ぶ顔が忘れられずさらに喜んで貰えるために何をすべきか・・・ロボット産業での人材育成のために始めた活動は、今年で3年目を迎えました。大変嬉しいことに、今年はロボット技術交流会で電磁波対策に関する勉強会を開催させていただいたり、正式に協賛企業として活動させていただくこととなりました。また、昨年ご好評いただいたゴム素材の再利用活動が、「リサイクル・ラバー・チャレンジ」として本格的にスタートし、かわロボの枠を超えて活動するまでに成長しました！「今年のかわロボでは何をやるんだろう？」、そんなワクワク感を提供した、今年も皆さんに喜んでいただける仕掛けをご用意しました！これからも来永い活動にしたいと、参加者の皆様にもご協力をお願い致します。
(松山工業株式会社 代表取締役社長 藤久森 洋生)

リサイクル・ラバー・チャレンジについて・・・

ツイッターをフォロー！

弊社のような小さな会社が、ロボット産業で「お役に立つため」には何をすれば良いか？そんなことを考えながら、協力工場で視察に入ったのは、ただ廃棄を待つばかりの大量のゴムの端材でした・・・かわロボの競技会がゴムで出来ていることから、直感的に何かが出来るとも・・・そう思い、昨年のかわロボでは展示ブースに4カゴ分の「リサイクル・ラバー」を用意しました。結果として、初日でほとんど無くなってしまったと同時に、協力工場もその驚愕の光景に何か「可能性」を感じて貰いました。その後、かわききロボットサロンでの第1回「リサイクル・ラバー・チャレンジ」を経て、教育機関や「ユニコ組会議」などのイベントでも開催させていただくまでに成長しました。今後はユニバーサルデザイン等、感性的な面においても、活動・交流を広げてゆきたいと考えております。このチラシをみて気になった方は、右記QRコードでツイッターをフォローして下さい！

「リサイクル・ラバー・チャレンジ」とは
昨年のかわききロボット競技大会で開始した、工業用ゴム素材のリサイクル活動です。ゴム素材はリサイクルが困難なことから、これまでは不要となった端材は廃棄せざるを得ない状況でしたが皆様に再利用していただくことにより、廃材が素材へと変換し、環境保全にもつながっております。

目的はやっぱり「福祉・介護の現場で笑顔を増やしたい！」

当初は、「やってみなければ始まらない」との思いだけで始めたプロジェクトも、徐々に皆様のお役に立つことが具体化していると同時に皆様との交流も広がりを見せています。ただし、松山工業株式会社が目指しているのは、「福祉・介護の現場で笑顔を増やす」という最終目標への到達。我々のプロジェクトは目標に到達するどころか、まだまだ始まったばかりの状況です。昨年配布させていただいた本誌第1号で、「夢ではなく、実現と貢献をするために・・・」と書き綴りましたが、1年が経過し、若干ではあるものの前進を実感出来るまでには成長しております。それだけ、皆様からお声掛けいただくことも増えたということです・・・

ロボットの業界では、ISO13482「サービスロボットの安全性に対する標準」に注目が集まっております。標準制定後には世界各国がサービスロボットの市場参入を目指し、競争も激化するのではないかと予測されています。ただし、私は日本人が持つ特有の文化、すなわち「癒し」や「可愛らしさ」などに対する独特な世界観を持つてれば、他者がマネすることの出来ないロボットの創出が可能なのではないかと考えております。「日本人の」「日本人による」「日本人のためのロボット」を創出するためには、これまでロボット業界をリードしてきた技術者のスキルだけではなく、「これからロボットの発展に関わってくる」であろう人材の育成にも力を注ぐ必要があると考えています。

松山工業株式会社は引き続き、最終目標である、「福祉・介護の現場で笑顔を増やす」という目標に向かって企業努力を続けると共に、その基盤となる「かわききロボット競技大会」へのサポートを継続します！

是非とも皆で、世界が驚くJAPANメイドのロボットを創り上げ、世界中の人に喜んで買ってもらいましょう！



松山工業株式会社ってどんな会社なの？
松山工業株式会社は、1947年に創業した電子・電機機器パーツや化学品原材料を扱う会社です。電子機器メーカーへの資材提供をメインに「お客様のお役に立てるよう」最先端の素材パーツで活躍しております。「自己革新を続け力ある企業をめざす」という経営理念のもと、お客様の技術革新に専らするために活動しております。

MATSUYAMA
松山工業株式会社
松山工業株式会社オフィシャルサイト
<http://www.j-matsuyama.co.jp/>
マツヤマ・ロボット・プロジェクト・オフィシャルブログ
<http://ameblo.jp/matsuyamarobotproject/>